

社会保険 紀南病院

病院紹介・研修案内



社会保険 紀南病院



社会保険 紀南病院

病床数：352床（感染症4床、NICU6床、ICU/CCU8床）

診療科：

内科、消化器科、呼吸器科、循環器科、外科、小児外科、
心臓血管外科、整形外科、**小児科**、産婦人科、泌尿器科、
皮膚科、麻酔科、耳鼻咽喉科、眼科、脳神経外科、
放射線科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、
透析科、精神科（こころの医療センター）

地域周産期母子医療センター

地域がん診療連携拠点病院

和歌山県災害拠点病院

僻地医療拠点病院

当院における特徴

- 多彩な疾患群をかかえた地域中核病院である。
(和歌山南部広域)
- 循環器科・心外科を中心とした心臓センターをはじめ、
各科24時間体制で対応しているほか、
産婦人科・小児科が充実。
(分娩件数約1000件・NICUやドクターカーあり)
- 救急搬送も年約3000件と1次～3次まで対応。
(洋上救急も)

小児科研修

年次および期間: 基本的に**2年次で2ヶ月**が望ましい

指導体制: 23年度は**小児科医7名**

内小児科**専門医兼臨床研修指導医4名**

(18年目2名、15年目1名、13年目1名)

当直および待機: 月4回から5回の当直と4回から5回の待機を指導医とともに行う

経験症例数: 入院患者**25-30例/2ヶ月**

到達目標: 軽症患児の診察、処方を行える
採血、点滴を行える(指導の下)

小児科紹介

- 和歌山県中部から南部地方までの地域でプライマリケアから高度医療まで幅広い医療提供を行っている。
- 地域周産期母子医療センターとして産婦人科医師と協力し、安心して出産できるよう未熟児やハイリスク児の分娩に対応。
- 新生児から中学生までの急性疾患、慢性疾患の診断治療を行うとともに、365日24時間当直、更に待機医と共に重症、ICU患者にも対応。
- 年間救急車受入数は約300件、当直時間帯での受診患者数は年間3,000～5,000人。
- 紹介患者に関しては、原則的にすべて受け入れ救急車は断らない。

症例数 治療 成績

- 入院病床数は小児科一般病棟が22床、NICUが6床、GCU4床。
- 小児科外来患者数は1日平均70人、年間入院患者数は小児科一般病棟約800人、NICU約150人。時間外救急外来患者数は1日平均11人。分娩数は年間900人。
- 一般病棟の入院患者は肺炎、気管支炎、胃腸炎などの感染性急性疾患、その他気管支喘息発作や髄膜炎、川崎病、けいれん重積等の疾患が主体である。
- 呼吸管理が必要な児や重症児はICUにて管理を行う。
- NICU病棟の入院患者は早期産による低出生体重児や肺炎等の細菌感染症、呼吸不全などが主体である。
- NICUでは低酸素性虚血性脳症に対する脳低温療法も施行。
- 在胎26週以降は受け入れ可能であるが、在胎26週未満および小児外科疾患、血液悪性腫瘍疾患は受け入れていない。